

MATSU-KO

PRESS

VOLUME 20
01.MAY.2017

伝統の技が生みだす癒しの音色 明珍火箸風鈴



100%職人 明珍宗理

～火箸風鈴とは～

平安時代から五十二代続く甲冑師の家系、明珍家(明珍本舗)が製作している、素晴らしい研ぎ澄まされた音色を奏でる風鈴です。この世界に誇る火箸風鈴を製作している明珍本舗さんの第52代当主、明珍宗理さんの取材に行ってきました! 音色をお届け出来ないのが非常に残念ですが、本当に素晴らしい音が鳴り響きます。裏面にインタビューも掲載していますので、是非ご覧になって下さい!

～明珍火箸や伝統の技の様々な用途～

◆SONY製マイクの音質検査

温湿度変化の影響を全く受けず、常に安定した澄んだ音色を発する事を評価され、50年以上も使用されています。

◆映画「たそがれ清兵衛」、「武士の一分」の効果音

プロが惚れ込む音色ってどんな音か、聞いてみたいなりません?

◆セイコー創業130年記念腕時計の時刻お知らせ用ゴング(鐘)鍛造

なんと1本3,465万円の超高級腕時計! スイスの時計博覧会で、これは日本の

何の音?と質問攻めにあったそうです。

◆姫路城、「平成の大修理」における金具製作

江戸時代の金具再現に試行錯誤しながら、大天守閣瓦釘などを製作。

◆姫路駅前のモニュメント時計の音源

正午になると、鳥肌ものの幻想的な音色が鳴り響きます!

明珍本舗



姫路城

モニュメント時計

JR姫路



JR姫路駅北側の広場で、明珍火箸の音色が聞けます! 気に入った方は明珍本舗にGO!!! 車で5分ぐらいの距離です。

～度重なる危機を乗り越えた明珍の技の歴史～

平安時代: 天皇に献上した鎧などを「音響朗々光り明白にして玉のごとく、類まれなる珍器なり」と称賛され、明珍の姓を賜る。

戦国時代: 武田信玄着用の諏訪法性の兜(すわほっしょうのかぶと)を製作し、日本最高の甲冑師と謳われるようになる。

江戸時代: 姫路藩の甲冑師になり、「明珍の打ちたる兜や鎧の胴は、刀では切れず、鉄砲のたまも通らなかつた」と記される。

明治時代: 甲冑の需要がなくなり、廃業の危機に見舞われるが、千利休のために火箸を作ったという故事にならい、火箸作りを始める。

昭和: 第二次世界大戦による鉄不足や、鍛冶道具の供出により存続の危機が訪れ、明珍の技を守るために代々続いた家や土地を手放す。

高度経済成長期: 火箸の需要減という危機が訪れる。明珍の技を途絶えさせないため、試行錯誤を重ね、昭和40年ついに明珍火箸風鈴を誕生させる。

現在: 「玉鋼」や「チタン」を素材にした火箸風鈴、花器、お鉢などの新しい製品を生み出すことへのチャレンジを続けている。

(注)玉鋼とは、日本刀の材料です。詳しくは裏面をご覧ください!

これは花器の支柱!
どうやって作ったのか
分かりません...



材工でもTOTALサポート マツコーの材工



NCPアンカー

雨でも施工可!
工程通りに完成します!クラウン
パイルアンカー
杭頭アンカー一本数減
過密配筋回避!仮設事務所
空調・備品トイレから下屋まで! これで完璧!仮囲い
見た目も大事!
デザインシートもお任せあれ!ゲート
基礎ブロックも据付ます!**橋梁補修工事**ひび割れ注入
省人・省力化を図るならこれ!アンカーアンカー
法面工事のプロ集団が施工します!

吹付工

法枠工

法面工事落下防護網・柵
積算見積もりからお任せ下さい!**外構工事**雨水排水管
曲る配管で工期短縮、コスト削減!フェンス
各種メーカー対応できます!

門扉

ガードレール

グート

手すり

ソフ
(淨化)
大臣認定
高度処理

1次処理槽

消毒槽

サイクル



～玉鋼(たまはがね)と明珍本舗～

玉鋼とは、日本刀の原料として欠かせない貴重な金属で、たら製鉄という日本古来の伝統技法でのみ作り出すことができる鋼です。玉鋼は、明治以降の近代製鉄の普及により一時途絶えていましたが、(財)日本美術刀剣保存協会が「たら製鉄」として復活させ、日本刀の技術保存のために製造するようになり、国内の刀匠のためだけに供給されるようになりました。この玉鋼を鍛錬する技術が途絶えてしまっていた明珍さんは、何とかして玉鋼製品を再興させようと同協会に幾度となく足を運び、明珍家の歴史や熱意を語り、やっとの思いで玉鋼の供給を受ける特例を得ることができました。

※映画「もののけ姫」に出てくる「たら場」とは、「たら製鉄」をモデルにしているそうです。
※砂鉄10t、炭13tを三昼夜掛けて命懸けで精錬し、やっと3t程の玉鋼が作り出されます。

玉鋼製の火箸。
うなるような深い余韻に
感激して涙する方もいる
程の素晴らしい音色です。

～明珍宗理さんインタビュー～

Q. 火箸風銃で一番誇れること、ここだけは譲れない、という拘りは?

A. 音。形は真似できても音は絶対に真似できない。生き残るために必至になって作った音だから。
拘りは鍛造で作ること。鍛造でないと、うなるような深い余韻が生まれない。

Q. 火箸風銃をもっと広めたいですか?

A. 当然広げていきたい。そのために昨年からホームページを始めた。

Q. 火箸風銃はどこで手に入りますか?

A. もちろん、ここ明珍本舗で買えるし、姫路市内のデパートや土産物屋でも扱っている。ただし全国展開している店では高島屋さんだけ。これからどうして生きていこう悩んでいた時期に声を掛けてくれたのが高島屋さんで、40年来の付き合い。

Q. 先代から当主を引き継ぐことを決意した時の心境は?

A. 先代の時代は、第二次世界大戦で鉄という鉄を全て持っていましたが、明珍から鉄という物は無くなってしまった。さらに先祖代々の財産を全部売ってまで技術を繋いできた。先代の時代に転職していれば財産は残っていたが、技術は途切れてしまうだろう。私が生まれた自慢の家人手に渡ってしまい、生活も非常に苦しかったが、そこまでして継承させてきた技術を途切れさせまい、私が何とかしよう、という想いでこの世界に入った。

Q. 玉鋼の供給を受ける特例を得るためには苦労しましたか?

A. 大変苦労した。一旦途切れた技術を再興させるための時間的・経済的な負担は相当なものだった。
苦労して作り上げた玉鋼火箸の音を聞いた女性が涙したときは、感慨深かった。

Q. 52代当主 宗里(むねみち)さんを一言で表すと?

A. 作家でも芸術家でも無い、100%の職人。

Q. 最後に何か一言!

A. 作業は非常にきついが、自分自身この仕事に満足している。これからも鉄を焼いて打つ!
という技術でどっぷりと職人の世界に浸かって生きていく。



世界遺産 熊野古道保全寄付金贈呈報告

初荷セールの主旨にご賛同、ご協賛頂いた皆さまのお気持ちを、「熊野古道保全寄付金」として届けてまいりました。「道」として世界遺産に登録される事は極めてまれであり、そのことで世界中から注目されている今、古道の整備・保全は重要な課題となっています。そのような状況下での寄付であったため、大変お喜び頂きました。



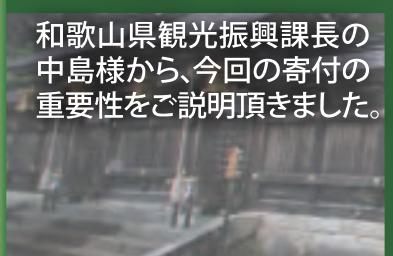
中島様



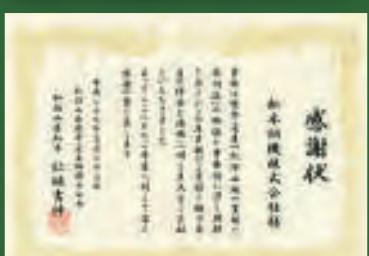
こちらが恐縮してしまうような立派な感謝状を頂きました!



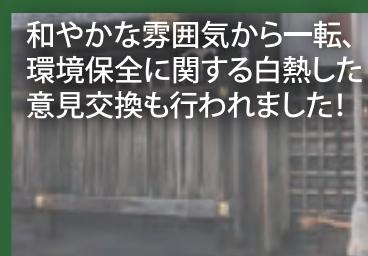
熊野古道では、このような道普請(整備)活動が活発に行われています。



和歌山県観光振興課長の中島様から、今回の寄付の重要性をご説明頂きました。



感謝状



和やかな雰囲気から一転、環境保全に関する白熱した意見交換も行われました!



恒例の丹波篠山産黒枝豆!

毎年大好評で、たくさんご応募を頂いている丹波篠山産の黒枝豆。

今年もMATSU-KOファームで栽培致します!

日頃お世話になっております皆さまに美味しい黒枝豆と笑顔をお届けできるよう、準備を進めていますので、お楽しみに!

※抽選で100名様に進呈予定ですので、たくさんの応募をお待ちしております。

弊社ホームページからご応募頂けますので、詳しい応募方法・応募締切等は弊社ホームページからお問い合わせ下さい。

台風等天候不順により、十分な収穫を得れずにお届けできなかった場合はご容赦願います。

Matsu-moto
松本鋼機株式会社

〒652-0812 神戸市兵庫区湊町1丁目88番地の1 078-651-7327(代)

■神戸営業部 078-651-7321
■大阪営業部 06-6398-0310
■京都支店 075-611-7533
■北近畿支店 0773-27-4809
■三田営業所 078-982-6285

■明石営業所 079-496-5783
■姫路営業所 079-293-3487
■淡路営業所 0799-45-1109
■豊岡営業所 0796-22-7261
■販売促進部 078-982-6285

■新大阪総合センター 06-6398-0315
■明石リース 079-492-0140
■仕入部 06-6398-0320
■開発営業部 06-6398-0320
■技術部 06-6398-0320

情報満載のホームページもご覧下さい! <http://www.matsu-ko.co.jp/>